

令和 4 年 1 月 28 日

学習支援課 森 淳



英語・数学・国語の基礎学力の向上を目標とします。

そのフォローとして、朝学習・朝テストを実施、生徒の学習時間を確保するとともに、効果測定として、ベネッセの基礎力診断テストを実施、脱D3ゾーンを目指し、Cゾーン以上の割合を増やします。

【今年度の活動】

1. スタディサプリ/マナトレを使っでの授業、課題配信サポート

【良かった点】

- ・ 課題配信ができ、生徒の学習意欲の向上が見られた。
- ・ 到達度テストを2回実施し連動課題を配信。
- ・ 今後も積極的にスタディサプリを活用していきたい。

【反省点】

- ・ 連動課題への取り組みを授業で呼びかけてはいるが、定着にはまだ時間がかかる(開封率30%前後の時あり)。

2. 学習支援対象生徒(1年生)の学習支援補習の実施

- ・ 生徒の出席率もよくなり、短期間であるが意義あるものとなった。

3. 「常用漢字テスト」「英語基礎力テスト」「数学基礎力テスト」の朝テスト、朝学習の実施

【反省点】

- ・ 選択、入力問題のため、いい加減に答えを入力する生徒が見られる。
- ・ 生徒自ら紙やペンを準備して、取り組むことができる環境づくりが必要。  
(3年生においては、数学において計算用紙を配布する工夫をした)
- ・ クラスによって扱いに差が出る。生徒の試験未開封、担任の未入力が多い。  
(担任の意識改革が必要)

4. 9月・1月の「基礎力診断テスト」の実施

【良かった点】

- ・ 選抜クラスの生徒にとっては「クラス替えの資料として大切なもの」であるという自覚があり真剣に向き合う。
- ・ 以前に比べ、いい加減に解答する生徒が減ってきている。

【反省点】

- ・ 本年度2回目を1月26日(水)に実施。コロナ陽性者・濃厚接触者の出停が多く、この後の処理が困難である。

5. 基礎英数国授業の実施

【良かった点】

- ・ 人数を絞り、学習支援が必要な生徒を厳選したので、一人ひとりに目が届き、学習支援ができた。